

ファンケル ニュースレター

2009.3.27 Vol. 12

ご質問・お問合せ(担当 広報・油井)

TEL 045-226-1230

FAX 045-226-1202

HP www.fancl.co.jp

〒231-8528 横浜市中区山下町 89-1

今月の特集

春本番！かゆみ肌開花宣言

厳しい冬の寒さや乾燥を越えたお肌は、とてもデリケート。毎日使っていた化粧品が、季節の変わり目に突然お肌に合わなくなりました…なんてことはありませんか？この季節だけでもスキンケアの見直しが必要かもしれません。

今回の特集では、春肌特有のかゆみや赤みなどの肌症状について原因を探るとともに、今日から実践できる対策をご紹介します。

特集

春本番！かゆみ肌開花宣言

～肌のかゆみを増幅させるイッチ・スクラッチサイクルとは…？～

厳しい冬の寒さや乾燥を越えたお肌は、とてもデリケート。毎日使っていた化粧品が、季節の変わり目に突然お肌に合わなくなりました、ピリピリ刺激を感じる、目の周りや唇に赤みやかゆみを感じる…なんてことはありませんか？春は寒暖の差が激しかったり、花粉やほこりが大量に舞っていたり、さらには紫外線も徐々に強くなるなど、肌に刺激を与える要素が多い季節です。

特に春先に猛威をふるう「花粉症」の原因である“スギ花粉”は、肌へも深刻な影響を与えるとか。環境省の発表によると、2009年度の花粉飛散量はほとんどの地域で例年より多いと予測されています。

今回の特集では、春肌特有のかゆみや赤みなどの肌症状の原因の一つである「花粉」の肌への影響と、今日から実践できる対策を、神奈川県横浜市にある浅井皮膚科クリニック・院長の浅井俊弥先生にお話を伺いました。

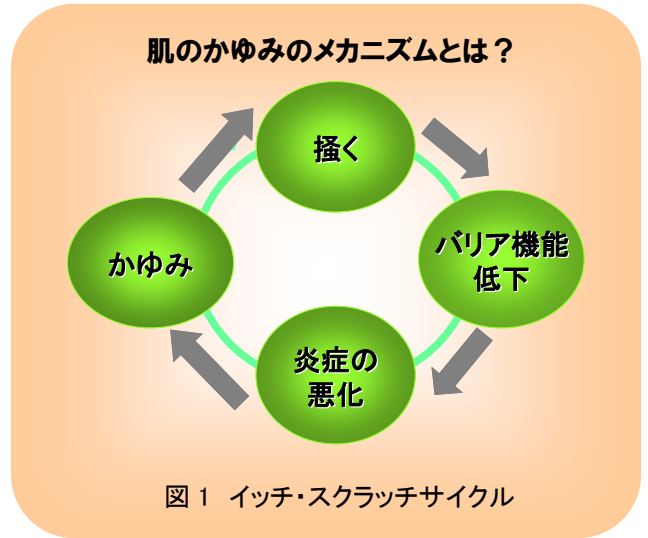


医療法人社団
浅井皮膚科クリニック
院長

浅井 俊弥 先生

一春先に肌のかゆみや赤みなど肌調子の不安定な方が増えるのはなぜですか？

冬の終わりから春先にかけては、1年のうちで最も皮膚の状態が不安定になりやすいと言われています。冬は気温や湿度が低く、皮膚にとって過酷な環境だったことに加え、春は寒暖の差が激しく、花粉やほこりが大量に舞いやすいことなどが要因となり皮膚は過敏になります。これら様々な要因から、皮膚の角層水分保持能や皮膚バリア機能が低下すると、皮膚は乾燥やくすみだけでなく、外部からの刺激に対してかゆみを感じる神経が容易に反応するようになり、かゆみに過敏な状態が生じます。さらに皮膚を掻くことで、皮膚のバリアが破壊され、炎症反応が悪化し、かゆみを感じる神経皮膚が伸張することでかゆみを感じる悪循環「イッチ・スクラッチサイクル」(図 1)を形成してしまうのです。このように肌が悪循環に陥ることで慢性的なかゆみが誘発される皮膚は、かゆみに過敏な状態が生じ、通常の皮膚であればかゆくないような些細な刺激によってもかゆみが誘発されてしまうことがあります。



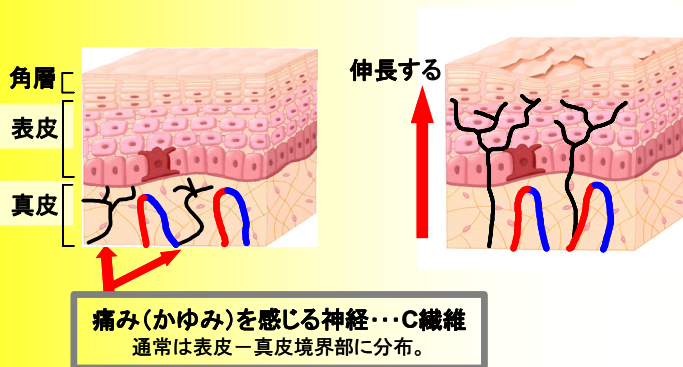
一今、まさに猛威を振るうスギ花粉…。春先のお肌調子に影響はあるのでしょうか？

日本では毎年2月にはスギ花粉が飛散します。今やスギ花粉症は国民の4人に1人が悩まされているという国民病です。スギ花粉症は、鼻水、鼻づまりなどの鼻症状と眼のかゆみ、眼球結膜の充血など眼症状が見られる疾患ですが、1990年頃から「スギ花粉皮膚炎」と呼ばれるスギ花粉が皮膚に接触することが原因となり、まぶた、顔や首といった露出部位などにかゆみや赤みを伴う皮膚症状が報告されています。最近では、花粉症の自覚症状がなくても、スギ花粉の皮膚への付着を原因としたかゆみなどの皮膚症状を訴える患者さんが増えています。アトピー性皮膚炎の方は特に、春先に症状が増悪するケースが多く、スギ花粉が要因として働いていると考えられています。

一なぜアトピー性皮膚炎の方は花粉の影響を受けやすいのですか？

アトピー性皮膚炎患者はもともと皮膚が乾燥しており、バリアが破壊されることで花粉によるアレルギーが生じやすくなっているからだと考えられます。東京医科歯科大学の横関博雄教授の報告によれば、アトピー性皮膚炎患者の約30%の方が、スギ花粉症皮膚炎を合併していると言われています。

<かゆみを起こしやすい肌の状態>



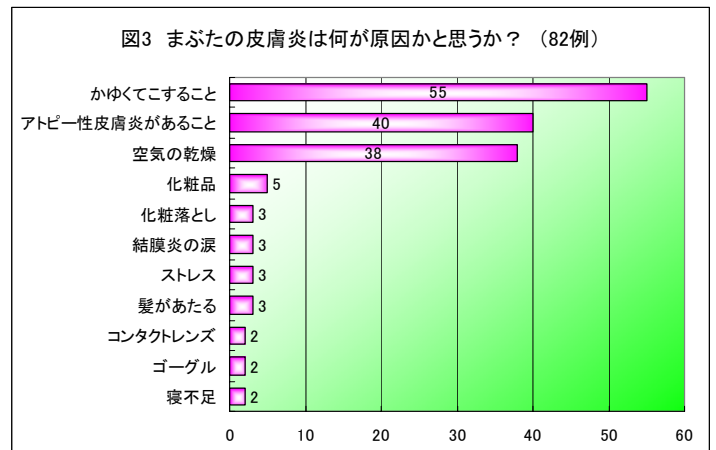
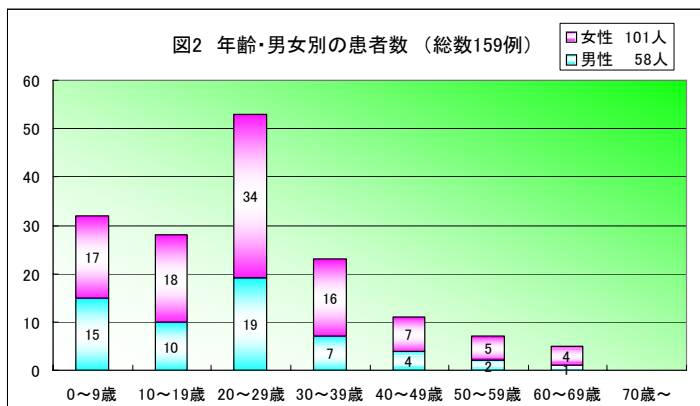
皮膚の角層水分保持能や皮膚バリア機能が低下した肌では、刺激(掻破行動)によりC繊維(かゆみ刺激の受容体が存在する神経)の成長を促進する物質(NGF)がでて、表皮内深く、角層直下まで侵入するため、かゆみに過敏な状態になります。

一特に悩みを訴える部位は？またその原因は？

私の数年の皮膚科開業医としての勤務の経験から、スギ花粉飛散時になると眼瞼のかゆみ発疹を訴えて来院する患者が多いことに気づきました。

そこで、2003年1月から2007年11月までに来院された眼瞼炎(まぶたの皮膚炎)を伴うアレルギー性皮膚炎の患者の中から、スギ花粉が皮膚炎の悪化要因になっていて、かつスギ花粉抗原のプリックテスト*が陽性であった患者159例(男性58例、女性101例)を対象にアンケートを実施しました。患者数の年齢分布は20代までの若年者に多く、全体の70%を占めていましたが、30代以降は年齢とともに少なくなっています(図2)。

*プリックテスト…皮膚テストの一種。皮膚に出血しない程度に微小な傷を付けてその上にアレルゲンをつけて浸透させ、腫れやかゆみでアレルギー反応を判定する評価方法。



また、スギ花粉皮膚炎に関するアンケートは82例の回答が得られました。

まぶたの皮膚炎は何が原因だと思いますか？という質問に対しては、かゆくてこすることが55例で最も多く、アレルギー性皮膚炎があることが40例、空気の乾燥38例との回答が多く、化粧品、化粧落としなどは小数回答でした(図3)。

しかし、眼瞼炎の患者は若年女性に多いことを考慮すると、女性特有の行動である化粧品や化粧落としが関係している可能性があると考えられます。例えば、アイシャドーなどの目元のメイク、化粧を落とす際にごしごしとこすって洗う、洗浄力が強い化粧落としを使用するなどの二次的なバリア損傷が、眼瞼炎の悪化に関与しているかもしれません。

一春は特にデリケートな目元、予防法はありますか？

まぶたの皮膚炎の予防法について質問した結果、内服薬が44%、外用剤の外用が71%、保湿剤が78%、帰宅後のシャワー浴が45%、帰宅後の洗顔が49%という回答でした。また、各々の有効率(予防法が有効だと回答した割合)は、内服薬が88%、外用剤の外用が98%、保湿剤が77%、帰宅後のシャワー浴が93%、帰宅後の洗顔が71%という回答でした。薬剤の使用はもちろんのこと、バリア破壊を予防、修復する効果のある保湿剤を使用し、皮膚と花粉抗原の接触を防ぐことが重要です。

一最後に、肌が過敏な今の時期の化粧品選びについてアドバイスをお願いします。

対策としては、花粉との接触を防ぐことが何より大切です。

例えば、外出後には花粉を洗い流し、女性は化粧を落とす時はごしごしこすらずにやさしく洗い流しましょう。そして、何よりもかゆみの悪循環を断ち切るために、かゆくても決して強く搔かないようにすることが大切であり、外用薬の外用や内服薬の服用によりかゆみを防ぐことも重要です。また、花粉抗原が皮膚と接触しないように、皮膚の水分、油分のバランスとバリア機能を整える働きのある、刺激の少ない安心・安全な化粧品を選ぶことが重要です。

正しいケアで不安定なお肌を健康に！

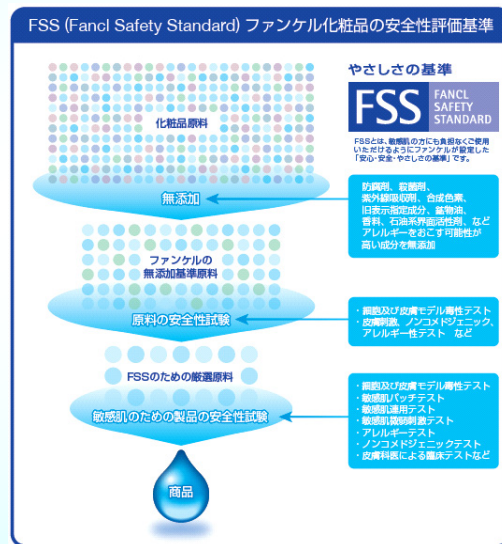
かゆみのない健康なお肌づくりには、日常の正しいお手入れが不可欠。フェイススキンケアもボディスキンケアも“低刺激・安心・安全”なアイテムを使用し、正しい手順でお肌を健康に保ちましょう。

		①洗う	②うるおす	③おぎなう
アイテム	フェイス	クレンジング、洗顔	化粧液	乳液・クリーム
	ボディ	ボディシャンプー	ボディローション	ボディミルク
ワンポイント		お肌をこすりすぎないように注意！ “こする”ことでバリア機能が低下してしまします…。 また、洗顔はきちんと泡立てましょう！	化粧液で水分をたっぷりお肌に届けます。両手で顔を包み込むように浸透させましょう！	乳液で油分をおぎないますが、保湿が足りない時は、クリームを使用。さらに肌表面に保湿膜を作り刺激をブロック！

ファンケルは独自の基準で化粧品の安全性を追求しています。

ファンケルでは、独自の化粧品の安全性評価基準「FSS (FANCL SAFETY STANDARD)」を設けています。FSSでは「安全・安心・やさしさ」のために厳選した原料だけを使用し、安全性テストや刺激性テストなどを実施。肌ストレスの原因となる成分を一切使わない姿勢を貫き通しています。

まず第1段階で、防腐剤、殺菌剤、香料などアレルギーの可能性の高い添加物を除外。さらに、人の皮膚の構造に近い“人工皮膚”などを使った安全性試験を実施。原料が人の肌に与える影響などを調査し、安全と認められた原料だけ、第2段階をクリアできます。そしてここまで選ばれた原料を、敏感肌の方に使っていただく敏感肌パッチテストや、敏感肌連用テスト、皮膚科医による連用テストを行います。ここまでをクリアして、初めて製品としてお届けすることができるという、高い安全性をお約束しています。



新商品

乾燥敏感肌をうるおいの膜で守り、健康肌へ導く

「無添加FDR」リニューアル新発売

5月20日から通信販売、全国の直営店舗で登場

乾燥敏感肌向けに皮膚科専門医と共同研究したスキンケアシリーズ「無添加FDR」がリニューアル新登場します。

洗顔液、化粧液、乳液、バリアジェルオイルなど全8アイテムを揃え、通信販売および直営店舗で、5月20日から新発売です。

価格(税込み) 1,000円～1,890円。



本件に関するお問合せ先
株式会社ファンケル 広報グループ
担当: 油井 紀理子
TEL: 045-226-1230
FAX: 045-226-1202
HP: www.fancl.co.jp